

笑顔あふれるまちづくり



いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員区政報告

NO. 338. 2009. 12. 20.

子育ての「SOS」受け止めます 保育園入園・子育て相談会

日本共産党品川区議団と子育て応援隊

② 「子どもは、自らの経験
寝る子に育ててほしい」と。
細胞は活発につくられる。
出てくる。夜の眠りの中で
ホルモンは深い眠りの中で
寝ないと回復しない。成長
るととれるが、脳の疲労は、
した。「体の疲れは横にな
寝ない」と回復しない。成長
ホルモンは深い眠りの中で
出てくる。夜の眠りの中で
細胞は活発につくられる。
寝る子に育ててほしい」と。

子育てで大切なこと 丸岡玲子

① 「寝る子は育つ」は、
子育ての原点と再確認しま
した。「体の疲れは横にな
寝ないと回復しない。成長
ホルモンは深い眠りの中で
出てくる。夜の眠りの中で
細胞は活発につくられる。
寝る子に育ててほしい」と。
③ 「地域は子どもも親も育
ち合う場。仲間をつくりま
しょう」と結び。その後、
風邪ばかり引くけれども大
丈夫だろうか。テレビの影
響と見せかたの工夫など相
談がありました。

を通して発達するので、体
験を大切に育てる」「お父
さんの出番をつくり家族全
員の体験を大切に」そして



荏原第5区民集会室をお借りしての相談会には、8家族20人が見えました。お子さん達と遊んで子育て応援隊（サポーター）も元気をもらいました。

認可保育園の入園申請は日々受け付けてい
ますが、来年4月の入園希望は1月8日が締
め切りです。共産党区議団と保育対策委員会
は、街に出て相談会を行いました。
丸岡玲子さんの子育ての話も好評でした。



認可保育所の最低基準緩和の撤回、保育所増設と質の充実をとめる 厚生労働省への申し入れ

保育所の待機児問題が深刻な中、厚生労働省は、東京都など大都市部の保育所面積の最低基準の緩和を容認し地方条例にゆだねる方針を決めました。世界最低の国基準をさらに引き下げるなどとも許せません。12月15日、参議院議員会館に集まり、厚生労働省に申し入れをしました。小池晃参議院議員、田村智子都副委員長、都議、区議、市議多数集まり、実態を訴えました。

地域のみなさんと引き続き要求実現のためがんばります。



「子ども手当5兆3千億円の一部を回し、保育所増設を」と訴える小池晃参議院議員

認可保育園の増設 いそげ!

「10月育児休暇予約で入れなかったけれど、4月に入園できなければ職場復帰できなない。」と切実な相談ばかりでした。

今年の4月、認可保育園入園を希望し、入れなかった子は443人(3人に1人)でした。人口が増え、子どもが増えているので当然保育園を希望する親子は

増えています。ところが品川区は、保育園は、お金がかかるし、少子化なのでいずれピークは過ぎると判断し、保育需要に見合った認可保育園増設計画をつくらず、既存園への詰め込みでのしのごうとしてきました。結果がここ数年、大量の待機児です。共産党は、需要を調査し、親の願いである認可保育園増設を求めています。来年どうするか。緊急対策として、区有施設を改修して、需要の高い0歳1歳2歳児の小規模保育園(分園方式でも)を求めています。

「区議会よ変われ」と叫びたい!

第4回定例会では「認可保育園増設を求める請願」が、2件提出され審査されました。自民、公明、民主、無所属の会の反対で不採択となりました。深刻な保育園不足をどう考えているのでしょうか。反対理由は：自民「新しい保育園をどんどん、箱ありきで待機児解消のやり方は古い。：区はいろいろやっている」公明、民主、無・会も区の施策を評価し、認可保育園増設に反対しました。区民の声は届いていないのでしょうか。